

まちしごとファクトリー

事業のポイント

■ 小さな地域での起業は、「まち」との連携を柱に「しごと」を組み立てることが大切。地域の中でしごとを創りだし、地域を少しずつ変えていく。そんな取組を応援し、地域の新しい担い手を創り出す場が「まちしごとファクトリー」。

事業の概要

1. 事業の目的

本事業は、徳島大学、徳島新聞社、徳島県信用保証協会の連携により、地域で「まちしごと」を創り、実践するアクターを創り出すことを目的とした事業で、平成30年度で4年目。

2. 事業の取組状況

①キックオフセミナー

開催日：5月26日(土)

場所： 徳島大学フューチャーセンター

市民や学生ら65名が参加。大阪ガス(株)の山納氏の講演では、ご自身の取組の紹介を通じて、プロジェクトの“はじめの一歩”の置き方を学んだ。ボードトークでは、県内でまちしごとを展開する(株)ハレとケデザイン舎の植本氏、(株)AWA-REの井上氏、オウライ(株)の西崎氏が加わり、「地域とのつながり」をテーマにトークを行った。



②まちしごと実践講座

開催日：6月19日(火)、6月26日(火)、7月3日(火)

場所： 徳島大学教養教育4号館

徳島大学の授業「社会学のパスpekティブ」との合同で、講師の矢部拓也教授(徳島大学)が実際に関わっている、徳島での「まちづくり」実践事例を取り上げながら、全3回の講座を開催した。

講座では、市役所、青年会議所、商店街、商工会議所、地域の事業者等がそれぞれの「まちづくり」の取組を紹介し、取組のブラッシュアップや地域の活性化策について、学生と一緒に考えた。



③まちしごと実践塾

開催日：10月20日(土)、11月17日(土)、12月15日(土)

場所： 徳島大学フューチャーセンター

徳島県信用保証協会が中心となり、起業に興味のある社会人や徳島大学の大学生等を対象に、全3回の創業に関するセミナー&ワークショップを行い、ビジネスプラン作成を支援した。各回のゲスト講師に(株)あわえの吉田氏、コグニティ(株)の河野氏、カフェ&カルチャーレヨンの藤田氏、(株)いろいろの横石氏を迎え、自らの起業体験をもとに、これから起業を志す受講生にアドバイスをもらった。また、



事業代表者・連絡先

山中 英生 (徳島大学理工学研究部 教授理事/地域連携担当副理事)

〒770-8502 徳島市南常三島町1-1

tel: 088-656-9752 fax: 088-656-9880

e-mail: chkoukenc@tokushima-u.ac.jp

受講生が企画した事業プランを発表し、講師からコメントをもらい、ブラッシュアップのヒントを得る機会となった。

④エクスカージョン

開催日：11月10日(土)、12月8日(土)

場所： 県南部、県西部

地域で起業し、まちしごとを展開している起業家の現場を訪問する「エクスカージョン」を、徳島県南部及び県西部の2回、実施した。

県南部では、美波町日和佐の「みなみ食堂」や阿南市のレストラン「ウト・ワーク」を、県西部では、美馬市のゲストハウス「西條邸」、三好市の廃校利用カフェ「シモノロ・パーマメント」、宿泊施設「4S STAY 阿波池田駅前」等を訪問し、オーナーの方々から創業への思いと地域とのつながりを学んだ。



⑤クロージングセミナー

開催日：2月2日(土)

場所： 徳島大学フューチャーセンター

市民や学生ら55名が参加。ゲストの(株)リ・パブリックの田村氏の話題提供では、地域での起業の持続的発展のプロセスについて指摘があった。トークセッションでは、県内で起業する、リノベル(株)の喜田氏、カフェ&カルチャーレヨンの藤田氏、ゲストハウスEarthshipMIMAを運営する倉科氏が加わり、会場を巻き込んで、セッションが行われた。

また、受講生による各々の事業プランの紹介とポスターセッションを行い、ゲスト、参加者、受講生らで活発に意見交換が行われた。

